

プラットフォーム・ワンが提供する SSP「YIELD ONE®」、 Viewability や広告接触データを用いた 広告枠設計コンサルティングサービスの提供を開始

株式会社プラットフォーム・ワン(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:秋葉典秀、以下 P1)の提供するSSP:YIELD ONE®は、同SSPを導入した広告枠のViewabilityや広告接触データ等を用いて、本サービスの提供を希望する媒体社の広告枠設計のコンサルティングや広告収益最適化運用の体制強化を行うこととお知らせいたします。

Viewabilityと広告効果の分析をもとに最適な広告枠設計をサポート

P1では昨年より、広告のViewabilityに関わる最適化や分析・開発を進めており、2016年1月には「Viewable impression」(※1)の広告自動判定配信に対応いたしました。

今回、実際に配信されたimpressionがViewable impressionかどうかの判定を行い、Viewableであった平均秒数やViewability%といった指標をもとに、媒体社の広告枠設計をサポートするサービスの提供を開始いたしました。YIELD ONE®を導入している媒体社は本サービスを通じて、より視認性・広告効果の高い広告枠設計を実現することが可能です。

「視認性」を軸とした広告枠設計

YIELD ONE®では、広告枠における配信最適化運用や、プライベート・マーケット・プレイス(PMP)や動画、リッチ広告フォーマットといった多様な配信形態の提供を中心に、媒体社の広告収益向上をサポートしてまいりました。

この度、広告枠の最適な掲載位置をViewability%などといった定量的な観点から分析し、改善の提案を行います。更なる収益向上だけでなく、より根本的な、広告主と生活者にとっての効果的な広告接触機会の創出を実現いたします。



(例)
広告枠を150px上げることで…

Viewability%	: 50% ⇒ 80%
eCPM	: 40円 ⇒ 60円

- ・ Viewabilityと収益の相関性を分析し、他枠の提案に反映。
- ・ 「スマートデバイスの場合、1stViewでも下部の方がViewabilityが良い」といった提案が定量的に検証可能。

Viewabilityを軸としたコンサルティングイメージ

(※1)パナー広告において、広告クリエイティブの50%以上の面積が1秒以上露出した広告インプレッションを「Viewable Impression」としている。IAB(アメリカ・インタラクティブ広告協議会)の定義に準拠。

今後の展開

通常のOpen Auction(RTB)取引はもちろん、既にサービス提供を行っているPMPやViewable impression等の広告商品と組み合わせ、媒体社の広告収益向上に繋がる提案や新しい広告商品づくりに取り組んでまいります。

P1は、広告主・広告会社及び媒体社の多様なニーズに迅速かつ正確に応えるため、「MarketOne®」・「YIELD ONE®」によるRTB取引サービスをはじめ、最先端のテクノロジーを今後とも提供し、社会へ貢献してまいります。

なお、P1では、継続的に事業を拡大し、新規事業の開発をより一層加速していくために、一緒に働く仲間の募集をしております。

募集要項の詳細につきましては、弊社HPよりご確認くださいませ。

<http://www.platform-one.co.jp/careers.html>

<会社概要>

■ 株式会社プラットフォーム・ワン

代 表 者 : 代表取締役社長 秋葉 典秀

本社所在地 : 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 YGPタワー33F

設 立 : 2011年2月

事 業 内 容 : インターネット広告取引基盤の開発・運営等

URL : <http://www.platform-one.co.jp/>

本件についてのお問い合わせ先

株式会社プラットフォーム・ワン: Tel 03-5421-8211 e-mail y1s@platform-one.co.jp